

## コロンビア月例報告（5月分）

### 外政・内政状況

2012年6月

コロンビア日本大使館

#### I 概要

##### 【外政】

- 2～3日 UNASUR 加盟国による外相・国防相・内務法務相会合（於：カルタヘナ）
- 6～11日 サントス大統領のシンガポール・中国訪問
- 14～17日 オルギン外相の仏・西訪問
- 22日 韓国外交通商部長官のコロンビア訪問
- 22日 ウリベ前大統領に対する爆弾テロ未遂事件（於：ブエノスアイレス）
- 24～25日 オルギン外相のベネズエラ訪問
- 28日 ガルソン副大統領のILO 事務局長選挙落選
- 30日 仏人従軍記者のFARCによる解放

##### 【内政】

- 4日 国家警察庁長官の交代
- 15日 ロンドーニョ元内務法務大臣に対する爆弾テロ事件
- 16日 ロペス・バジェ県議員の逮捕
- 21日 ベネズエラ国境付近におけるFARCと国軍の衝突
- 22日 気象庁（IDEAM）による予報
- 28日 内閣改造

#### II 本文

##### 【外政】

##### 1 UNASUR 加盟国による外相・国防相・内務法務相会合（於：カルタヘナ）

2～3日、UNASUR を構成する12カ国より32の外相・国防相・内務法務相が、カルタヘナで会合を行い、国際組織犯罪に対応するため、UNASUR の下部組織として、治安委員会を創設することに合意した。

##### 2 サントス大統領のシンガポール・中国訪問

6～11日、サントス大統領は、マリア・クレメンシア夫人、オルギン外相、ディアス・グラナドス商工観光相、レストレポ農業相、カルドナ運輸相、カルデナス鉱山エネルギー相及び企業関係者と共に、シンガポール及び中国を訪問した。7日、タン・シンガポール大統領主催食会に出席したほか、リー首相と首脳会談を行ない、コロンビアにおけるシンガポール企業の投資促進等につき意見交換を行った。9日には、胡錦濤中国国家主席と会談、両国首脳の立ち会いの下、「コ」・中国 FTA 作業部会の立ち上げを含め、9つの覚書への署名が行われた。

### 3 オルギン外相の仏・西訪問

14日、オルギン外相は、OECD事務局において、コロンビアのOECD加盟に対する関心を表明した。15～19日、スペインを訪問、ガルシア国際協力相等と会談を行い、11月に開催されるイベロアメリカ・サミットへのサントス大統領の出席につき確認した。

### 4 韓国外交通商部長官のコロンビア訪問

22日、キム・ソンファン韓国外交通商部長官は、初めてコロンビアを訪問、サントス大統領を表敬した他、オルギン外相及びその他の閣僚と会談を行なった。また、コロンビア・韓国外交関係樹立50周年の切手発行記念式典に参加した。

### 5 ウリベ前大統領に対する爆弾テロ未遂事件（於：ブエノスアイレス）

22日、翌日にウリベ前コロンビア大統領の講演会が予定されていたブエノスアイレス市内劇場において、従業員により照明に設置された爆発物が発見された。通報を受けた連邦警察は劇場周辺道路を封鎖し、爆発物処理班による処理が行われ、翌日の講演会は実施された。現時点で実行犯人は不明となっている。

### 6 オルギン外相のベネズエラ訪問

24～25日、オルギン外相はベネズエラを訪問、21日にベネズエラ国境付近でFARCとの戦闘によりコロンビア国軍兵士12人が殺害された事件を受け、マドゥーロ・ベネズエラ外相と会談、国境付近の警備強化に関する共同コミュニケを発出した。

### 7 ガルソン副大統領のILO事務局長選挙落選

28日、ガルソン副大統領は、ILO次期事務局長選挙の第五回目の投票において落選、ガイ・ライダーILO総局長が次期事務局長に決定した。パルド労働大臣は、ガルソン副大統領が3位まで残ったことにより、労働者の権利を擁護するコロンビアの姿勢が国際社会において認められたと称えた。ガビリア下院議長（自由党党首）は、ガルソン副大統領は、今後も労働及び人権問題、平和の構築といった重要な分野で政府に貢献するだろうと述べた。

### 8 仏人従軍記者のFARCによる解放

30日、4月28日よりFARCの人質となっていたラングロア仏人従軍記者は、コルドバ元上院議員、ライヒ国際赤十字当地事務所長らが参加する人道ミッションを介し、カケタ県において解放された。同記者の健康状態は良好であり、31日、フランスに向けて出国した。オランド仏大統領は、1日、ラングロア仏人従軍記者との会談後、フランスがコロンビアの政治に干渉する理由はないと述べ、コロンビアにおける国内武力紛争に関与する意思がないことを明らかにした。ラングロア仏人従軍記者は、FARCより、オランド仏大統領に宛てた、コロンビアの和平実現のために、国際社会が関与すべきであるとする書簡を携行していた。

## 【内政】

### 1 国家警察庁長官の交代

4日、サントス大統領は、ナランホ国家警察庁長官の後任としてレオン將軍を任命した。

### 2 ロンドーニヨ元内務法務大臣に対する爆弾テロ事件

15日、ボゴタ市内（カラカス通りと74通りの交差点）において、爆破事件が発生し、停車中のロンドーニヨ元内務大臣の車両の左後方から徒歩で近づき、車両前方に磁石装着小型爆弾（LAPA）を貼り付け、タクシーで走り去った。即座に助手席に乗車していた同元大臣の警護官が、爆弾を取り除こうと助手席の扉を開けた数秒後、爆弾が爆発。右警護官と運転手が即死した。爆破事件による人的被害は、死者2名、負傷者54名、物損は、自動車10台及び41もの建物に及んだ。現時点で、実行犯は逮捕されていない。

### 3 ロペス・バジェ県議員の逮捕

16日、ロペス・バジェ県議員は、FARCとの癒着（FARC ポリティカ）があるとして逮捕された。2002年、バジェ県地方議員12名がFARCのテオフィロ・フォレロ遊撃部隊により誘拐され、5年間人質となった末、同議員以外全員殺害された。7年後、同議員のみが解放されたものの、「アルフォンソ・カノ」より押収した証拠書類より、同議員らしき人物が誘拐等の手引きをしたとするビデオが発見されたとしている。

### 4 ベネズエラ国境付近における FARC と国軍の衝突

21日、ベネズエラ国境より約150メートルに位置するグアヒラ県マハジュラにおいて、通称「レオナルド・ゲラ」率いるFARC第59戦線と国軍との戦闘があり、国軍兵士12名が殺害された。国軍部隊は、電力塔の修理を行う技術者の警護にあたっていたところ、ベネズエラ国境を越境してきたとみられるゲリラ約80名に襲撃された。襲撃後、応援に向かった歩兵大隊が到着する前に、ゲリラは越境して逃亡したとみられる。19-20日にかけて、カケタ、ボリバル、ノルテ・デ・サンタンデルの各県において、FARCの襲撃が続き、国軍兵士及び警察より死者2名、民間人を含む負傷者約40名の犠牲が生じている。

### 5 気象庁（IDEAM）による予報

22日、気象庁（IDEAM）は、2年間続いた長雨にかわり、エル・ニーニョ現象のため、7月より、深刻な干ばつ被害が発生する可能性があるとして発表した。

### 6 内閣改造

28日、政府は運輸大臣の交代を発表、カルドナ前運輸大臣は、在バチカン・コロンビア大使に転出し、ミゲル・ペニャロサ氏が新たな運輸大臣に就任した。

（了）